

山梨県印刷工業組合機関誌

# 山梨の印刷

No.192 2015-4,5,6  
風林火山の巻

甲州観光名所紀行

甲斐駒と田園

## CONTENTS

1. 新年度あいさつ
2. 平成27年度通常総会
4. 4月定例理事会報告
5. 6月定例理事会報告
6. 親睦ゴルフコンペ
8. おかえり！KAPPAN
10. 今なぜCSRが求められているのか！
12. 事務局便り
13. 編集後記
14. 広告協賛各社

今号の甲州弁は  
**かじる!**  
解説は  
編集後記にて。



山梨県印刷工業組合

URL <http://www.print-yamanashi.or.jp/>

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-17-5 TEL/055-222-1048 FAX/055-227-6216

おかえり！

# KAPPAN

大宜堂印刷 宮田龍二

4月13日に新宿にあります朗文堂・アダナプレス倶楽部さんで活版印刷を体験してまいりました。

こちらの朗文堂さんは、現在でも新品の手動活版機(テキン)を生産、販売されている世界でゆいいつの会社だそうです。うちはまだ最後の活版機を数年前に出したばかりですが、メールで問い合わせてみますと、お手ごろな価格で販売されていましたので、購入を前提にテキンの操作指導教室に申し込みました。

約束の時間よりすこし早く朗文堂さんに着き、扉を開けると「ぎゃー——！！」(興奮w)

木の棚にぎっしりつまった活字、並べて置いてあるテキン、小学生くらいまで怒られながらも走りまわっていた実家の工場をなつかしく思い出し、一気に昭和タイムへと引きもどされました。



テキンは、黒と緑のボディがあり、黒はシンプル、緑はレトロな感じでどちらも佇まいがカッコいい。置いておくだけで雰囲気であるな〜と見とれてしまいました。(インテリアではなく、ちゃんと使うようにがんばります！！w)

活版印刷に関してひととおり説明をいただいたあと、さて印刷かな〜と思いましたが、まずは文字を組むところから始まりました。

忘れかけていましたが、活字は拾うと言うんですねー

鉛筆なら、(字を)書く。

パソコンなら、(字を)打つ。

活字なら、(字を)拾う。

かく、うつ、ひろう。

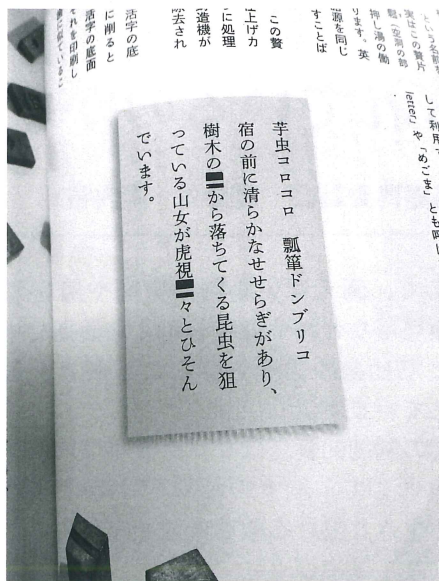
字を「拾う」っていう、なんとも温かくやわらかい響き。

くわえ、だるま、どぶ、文字が太るなど、こういう面白い業界用語が多いのも印刷の大きな魅力だと思います。

活字を拾う作業を文選というらしいですが、課題でいただいたわずかばかりの文章を組み始めます。活字をさがして、文選箱という木の箱にはめていく。行間も字間も自分の手ではめていきます。

いくら印刷屋で生まれて、活字に囲まれて育ったとはいえ、僕はDTPの申し子です。この作業をする気分は単なるミーハーです。銀河鉄道の夜で、活字を拾うバイトをしているジョバンニになったようじゃーん！と内心かなりワクワクしてはじめました。

しかし、パソコンでばんばん入力してい



くことしか知らないなので、実際に一文字一文字、手で活字をひろう作業は細かくて、すぐに気が遠くなり牛の歩みにめっちゃ眠くなりました。

なんてちまちました作業なんだ。。。

目当ての活字を見つけて、拾って、活字の方向に気をつけて、木の箱にはめこんで orz、、時間がかかることばかりを重く感じます。こんなに時間をかけて組んでも、お客さんから「ここはトルツメ」「ここで改行」なんてバサバサ赤を入れられたら、どんな気持ちになっちゃうんだろうと思いました。

先生が横にいても睡魔が邪魔ばかりしてきますが、そういえばときどき古い本を見ると 90 度になっている文字や逆さまになっている文字など、今ではかえってそうするのが難しいくらいの誤植があるよなーなどと思いを馳せながら文字組みを完成させました。

さて、お待ちかねの活版印刷機に移ります。

インクをローラーにつけて、レバーを上下に動かしていきます。見当合わせには針を使っていました。棚橋専務や講師の大石

さんがやるとインクが均等に出て綺麗に仕上がるのですが、僕のは 10 枚に 9 枚は印刷にムラがでてしまいました w

かすれてはいても、やっぱり活版印刷特有の味わいにテンションがあがります。

ちいさい頃から活版印刷機の音、インクの香りが大好きでした。こんな経験がなければ一生思い出すこともなかったのかもしれませんが、おじさんやおばさんたちが暑い暑いと言いながら活字の鑄造機に向かって背中や、うす暗い工場で活字をどんどん拾ってく早さなど、なつかしい匠の技を思い出しました。

昔はここに置いてあるよりも遥かに多い活字の中から、一分間に活字を 3 つ拾えないと一人前とは認められなかったといわれていたそうです。

僕の鈍足も、きっと慣れるとあんなに早くなるのだろうなーとは到底思えませんでした w

受注生産ということで、まだテキンが会社には届いていませんが今年最優先ポイントだったマックを買うより先に購入してしまいました w

朗文堂片塩社長さまと講師の大石さま、丁寧なご指導と貴重なお話をたくさん聞かせてくださりありがとうございます。

ぜひ皆さま久しぶりのテキン体験をかねて、活版の名刺を作り僕に僕の会社へ遊びに来てくださーい！！

